

憲法と建国記念の日を考える

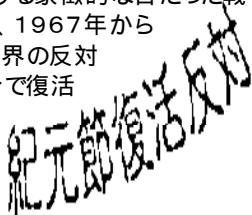
(水)13時30分～16時^{13時開場}

2月11日集会

会場・日本教育会館
8F第一会議室

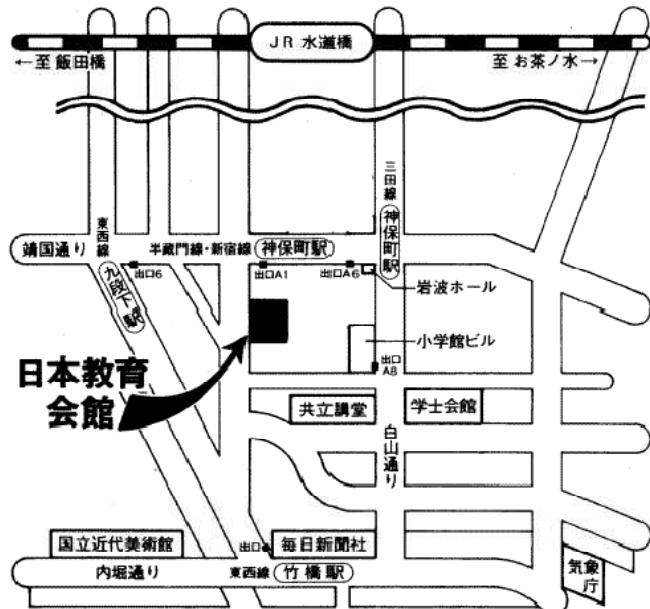
千代田区一ツ橋2-6-2 Tel03-3230-2833

2月11日の「建国記念の日」は、神話をもとに明治政府が制定し侵略戦争を美化し天皇を讃美する象徴的な日だった戦前の「紀元節」を、1967年から自民党政権が各界の反対を押し切って政令で復活させた日です。



戦後の日本は、自民党内閣のもとで、東アジアとの関係、とくに歴史認識については繰り返し問題を引き起してきました。とりわけ現在、長期政権化の様相が強まり、改憲にまで着手を言及し始めた安倍首相は、日本の戦争責任をはじめ歴史認識について、中国・韓国などの近隣アジア諸国はもとより、欧米諸国からもその姿勢に対する強い批判を受けています。しかし、国内世論は、政権への強い批判の一方で、偏狭なナショナリズムに流れる動きも看過できないものとなっています。これを踏まえて、日本人の歴史認識や人権意識についての問題を象徴する日、2月11日に「安倍政権の暴走とナショナリズム」をテーマに集会を開きます。ぜひともご参加ください。

神保町駅(地下鉄半蔵門線・都営新宿線・都営三田線) 徒歩3分
竹橋駅(地下鉄東西線) 徒歩5分
九段下駅(地下鉄東西線) 徒歩7分
水道橋駅(JR線) 徒歩15分



参加費
500円

若者とナショナリズム (仮題)

講師・中西 新太郎 さん (横浜市立大学名誉教授)

現代日本社会論・文化社会学。1948年、静岡県生。東京都立大学人文学部卒。一橋大学大学院社会学研究科社会哲学専攻博士課程修了。鹿児島大学教育学部助教授、1990年横浜市立大学国際文化学部助教授、教授。2014年名誉教授に。著書に「情報消費型社会と知の構造 学校・知識・消費社会」(旬報社 1998年)「思春期の危機を生きる子どもたち」(はるか書房 2001年)「若者たちに何が起こっているのか」(花伝社 2004年)「<生きにくさ>の根はどこにあるのか 格差社会と若者のいま」(前夜 2007年)「<生きづらさ>の時代の保育哲学」(ひとなる書房 2009年)「シャカイ系の想像力」(岩波書店 2011年)など。

報告・『教育委員会アンケート』を実施して - 育鵬社版教科書と採択問題をめぐって -

相可 文代 さん (子どもたちに渡すな!あぶない教科書大阪の会)

主催 フォーラム平和・人権・環境

千代田区神田駿河台3-2-11連合会館1F Tel03-5289-8222 Fax03-5289-8223
<http://www.peace-forum.com> E-mail:peace-forum@jca.apc.org

-安倍政権の暴走とナショナリズム